

大家さんの野菜を取り入れています

都市近郊農業は、SDGsの視点からも貴重な地域の財産であり、災害時には畑のスペースが命を守る安全資源ともなります。ゆいまある発祥の地、南沢で農業を営む篠宮善道さんは、明治時代から続いている農家であり、ゆいまある南沢事業所の大家さんでもあります。南沢事業所の周辺に広がる畑では、キュウリ・ネギ・ナスをはじめ、年間では50種類の野菜を収穫しているそうです。さる7月2日には大家さんの畑の一角で、地域交流事業として恒例になったジャガイモ掘りを、近隣にお住まいの12家族・32名の参加で開催できました。大家さんが丹精込めて育ててくれたジャガイモを収穫できて、参加した子供たちは大喜びでした。

大家さんの畑でとれた野菜は、次世代の篠宮哲彦さんの協力のもとで、ゆいまあるの日替り弁当の食材として活用しています。地産地消の旬の野菜を食すことが、利用者様の健康にも環境にもやさしいと考えています。全ての食材を賄うためには、需給のバランスなどの課題もありますが、これからは出来る限り大家さんの畑の野菜を使用していきたいと



篠宮哲彦さん(右)と曾田管理者(左)

介護職員等への処遇改善の実施状況についてのお知らせ

政府は、昨年11月19日に「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を閣議決定しました。この対策の中の「分配戦略」の項に、公的部門での分配機能の強化策として「保育士等・幼稚園教諭、介護・障害福祉職員を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度(月額9千円)引き上げるための措置を、2022年2月から前倒しで実施する」ことが盛り込まれました。その後、補正予算が確保され、介護職員へ「介護職員処遇改善支援補助金」、障害福祉に携わる職員へ「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金」が、本年6月から順次交付されております。

交付に先立ち、法人としての処遇改善計画を提出しました。従来から、処遇改善については、「見える化」が求められており、計画の全職員への周知が義務付けられています。計画書の概要は法人のHPにて開示していますが、新たな補助金・交付金の職員への配分方法について、以下に説明を加えます。

今回の補助金・交付金は、介護職員のベースアップに総額の3分の2を充てることが求められております。また、政府の指針から、平均9千円程度の引き上げが目安となっているため、介護に従事する常勤職員のベースアップ分として9千円を配分し、その他の常勤職員には7千円を配分することとしました。また、非常勤の介護従事職員の時間給を、5円～10円(障害のヘルプ事業分については70円程度)引き上げることとしました。この方法で本年2月～9月の8か月分の給与の改善を図ります。そして、この配分方法により仮に補助金・交付金に未返納の残額が生じた場合は、調整額として介護従事職員に残らず配分することとします。なお、10月以降は、介護報酬の改定等により、同様の措置が継続できるように財源が措置される予定です。

思います。

イオンで毎月11日に実施されている「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」で、皆様にご協力いただいたレシートのポイントを、厨房で使用するフライパン・スチール・しゃもじ等に交換させていただきました。ご協力に感謝いたします。
(食事部管理者・曾田麻利子 記)

サボテンの花を見学



南沢デイルームでは、天気の良い日は散歩に出かけています。

近所に大きなサボテンがあり、『大きいわね〜花がみたいわね』いつも話しています。

サボテンの花は夏の夜に咲くため昼間は見られないと聞いており、毎年諦めていました。

しかし、今年はなんと！一昼間に咲いていたのです！

『わぁー綺麗ね〜』と皆さん感動し、しばらく花を眺めていました。『写真撮って〜』と利用者さんに言われ、急いでスマホで撮影です。

帰り道は、いいことありそうね♪ラッキーだったわね♪とテンションが上がっていました。

コロナ禍で外出も制限されていたが、感染症対策をしっかりと行いつつ、散歩を通してこういう小さな幸せをみつけていきたいですね♪
(南沢デイ管理者 中村美由紀 記)



高澤 幸江 ヘルパー 責任者からのご挨拶



私の自宅では、沢山の方に支えて頂き、家族介護が出来ています。そこで自分も、自宅でのサポートを待っている方のお力に少しでもなれたらと思い、介護の仕事を始めました。ヘルパーサービスの上司や同僚がとても温かいこと、そして困ったときはすぐに対応してくださり、安心して働くことができるので、ゆいまあるで介護職に就けて良かったです。

7月1日からヘルパーサービスのサービスの提供責任者に就任しました。この役職は未経験ですが、経験豊富な先輩方に教わりながら、利用者様やご家族に喜んでいただけるサービスが提供できるように頑張っていきたいと思っております。未熟者ですが、どうかよろしくお願ひします。

新入職員紹介

4月～6月に採用された、食事部の職員をアンケート方式で、ご紹介いたします。

- ①最近読んだ本、又は観た映画で特に印象深かったものは？
- ②介護・福祉の仕事で、あなたがここに拘ってきたいと思うことは？



あさい たつお
浅井 立夫さん
6月1日日本採用
配達業務

- ①NHKの特集で興味をもち、シモヌド・ボーヴォワールの名著「老い」を読んでいます。
- ②人が老いていくのは決して避けられない宿命です。自分も65歳になり、その宿命に直面する歳になりました。仕事もいつも裏方でしたので、これからは、人に対していい裏方さんになりたいと思っています。



ながむね よしこ
長 宗 佳子さん
6月1日採用
調理業務

- ①トップガン(マウヴェリック)を観て、信頼を得る心の苦しさ、分かり合えた時の喜びに共感しました。
- ②両親が施設入所した中で、介護は奥が深く介護される人の思いと介護する人の思いが微妙にかみ合わない苦しさを感じました。時間はかかっても、心に寄り添って話を聞くことが大切だと思います。食事を提供する仕事では、「美味しかった」と笑顔になって頂ける弁当作りを心掛けたいです。



はま みつほ
堀江 美恵子さん
4月1日採用
調理業務

- ①西村京太郎のトラベルミステリーシリーズをほぼ読破。旅好きで、旅先にちなんだ一冊を読みながら旅することで、小説の中に入り込んだ気持ちになり、小説も旅も楽しさが倍増します。
- ②介護施設での調理業務に携わり最もやりがいを感じるのは利用者の方に「美味しかった」と声をかけていただいた時です。これからも、安全でおいしい食事作りに拘り、提供できるように努めたいと思っています。